

作品・作者解説

山月記

(中島敦)

作品解説（山月記）

作者

中島敦

初出

一九四二（昭和一七）年

雑誌「文学界」

概要

中国の伝奇小説『人虎伝』を素材として書かれた作品。

『文字禍』とともに発表され、二作品をまとめて『古譚』という総題が付されていた。

作者解説（中島敦）

生没年

一九〇九（明治四二）年

～一九四二（昭和一七）年

文学思潮

注目を集め始めた年に死去したこともあり、文壇とはほとんど無縁の作家であった。

代表作

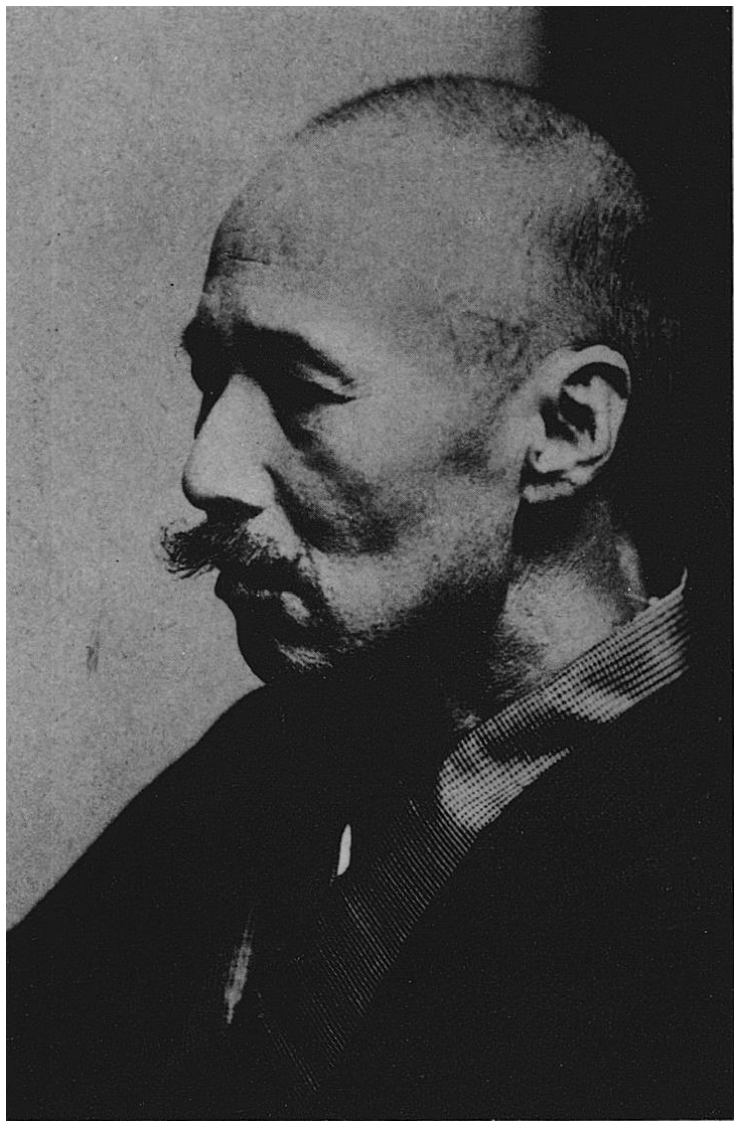
『光と風と夢』 『名人伝』

『弟子』 『李陵』 など。

関連人物

森鷗外

東京帝国大学国文科に進んだ
中島敦が研究対象に選んだの
は、耽美派の文学だった。そ
して大学院では、特に森鷗外
の研究に従事した。



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)